

平成23年11月14日

平成23年度ふれあい行事開催報告

行事名	野鳥と冬芽の観察会
主催（後援）	支笏湖自然保護官事務所 協力：自然公園財団支笏湖支部
開催日	2011年11月12日（土） 10:00～12:00
場所	千歳市支笏湖園地
参加者	参加者 3名 スタッフ 5名
行事の概況	樹木にある冬芽の種類や種子の数、種子を遠くへ飛ばす方法の違いなどを説明した。参加者は葉芽や花芽など冬芽それぞれの呼び方の違いやシラカンバとダケカンバの種子の付き方の違いなどの説明を受け、ホオノキの冬芽を実際に触って確かめた。また、ゴジュウカラが餌を探す様子やフッキソウ、ツルリンドウ、マイヅルソウの実キツリフネの種子の飛び方などを観察した。

<活動の様子>



写真を見せながら植物の種子を説明するパークボランティア



ダケカンバとシラカンバの種子の違いを説明



気になった葉を参加者が集め、パークボランティアが答えていく



キツリフネの種子の飛ばし方に驚いた